

前期日程

令和 5 年度入学試験問題（前期日程）

数 学

（理工学部）

————— 解答上の注意事項 ————

1. 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
2. 問題冊子 1 冊および解答紙 4 枚がある。解答紙は 1 枚ずつ切り離して使用すること。
3. 問題は **[1]** から **[4]** まで 4 間ある。各問の解答は所定の解答紙にのみ記入すること。
4. 解答は、できるだけ解答紙の表面にすべて書くこと。やむを得ず解答紙の裏面を使う場合は、表面の右下に「裏面に続く」と書き、解答の続きを裏面の仕切り線の下に記入すること。
5. 解答しない問題がある場合でも、解答紙 4 枚すべてを提出すること。
6. 問題冊子は持ち帰ること。

**1** 四面体OABCにおいて、 $\overrightarrow{OA}$ ,  $\overrightarrow{OB}$ ,  $\overrightarrow{OC}$ をそれぞれ $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$ ,  $\vec{c}$ とおく。これらは

$$|\vec{a}| = |\vec{b}| = 2, \quad |\vec{c}| = \sqrt{3}$$

および

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = 0, \quad \vec{a} \cdot \vec{c} = \vec{b} \cdot \vec{c} = \frac{1}{2}$$

を満たすとする。頂点Oから $\triangle ABC$ を含む平面に垂線を引き、交点をHとする。次の間に答えよ。

- (1)  $|\overrightarrow{AB}|^2$ ,  $|\overrightarrow{AC}|^2$ ,  $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC}$ の値をそれぞれ求めよ。
- (2) 実数 $s$ ,  $t$ により  $\overrightarrow{AH}$ が  $\overrightarrow{AH} = s\overrightarrow{AB} + t\overrightarrow{AC}$ と表されるとき、 $\overrightarrow{OH}$ を $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$ ,  $\vec{c}$ ,  $s$ ,  $t$ を用いて表せ。
- (3) (2)の $s$ ,  $t$ の値をそれぞれ求めよ。
- (4) 四面体OABCの体積を求めよ。

2

0から3までの数字を1つずつ書いた4枚のカードがある。この中から1枚のカードを取り出し、数字を確認してからもとへもどす。これを $n$ 回くり返したとき、取り出されたカードの数字の総和を $S_n$ で表す。 $S_n$ が3で割り切れる確率を $p_n$ とし、 $S_n$ を3で割ると1余る確率を $q_n$ とするとき、次の間に答えよ。

- (1)  $p_2$ および $q_2$ の値を求めよ。
- (2)  $p_{n+1}$ および $q_{n+1}$ を $p_n$ ,  $q_n$ を用いて表せ。
- (3)  $p_n$ および $q_n$ を $n$ を用いて表せ。また、極限値 $\lim_{n \rightarrow \infty} p_n$ および $\lim_{n \rightarrow \infty} q_n$ を求めよ。

**3**  $a, b, c, d$  は実数とし,  $x^4 + ax^3 + bx^2 + cx + d$  を  $f(x)$  とおく。4次方程式  $f(x) = 0$  が 2 つの実数解  $\sqrt{6}, -\sqrt{6}$  および 2 つの虚数解  $\alpha, \beta$  を持つとする。次の間に答えよ。

- (1) 整式  $f(x)$  は  $x^2 - 6$  で割り切れるることを示せ。
- (2)  $\alpha + \beta, \alpha\beta, c, d$  を  $a, b$  を用いて表せ。
- (3) 複素数平面上において点  $A(\alpha), B(\beta), C(-\sqrt{6})$  が同一直線上にあるとき,  $a$  の値を求めよ。
- (4) (3)において, さらに点  $A(\alpha), B(\beta), D(\sqrt{6})$  が正三角形の 3 つの頂点となるとき,  $b$  の値を求めよ。

4

次の間に答えよ。

(1) 等式  $(\tan \theta)' = \frac{1}{\cos^2 \theta}$  を示せ。また、定積分  $\int_0^{\frac{\pi}{4}} \frac{1}{\cos^2 \theta} d\theta$  の値を求めよ。

(2) 等式

$$\frac{\cos \theta}{1 + \sin \theta} + \frac{\cos \theta}{1 - \sin \theta} = \frac{2}{\cos \theta}$$

を示せ。また、定積分  $\int_0^{\frac{\pi}{6}} \frac{1}{\cos \theta} d\theta$  の値を求めよ。

(3) 定積分  $\int_0^{\frac{\pi}{6}} \frac{1}{\cos^3 \theta} d\theta$  の値を求めよ。